

今、鉄道の安全と信頼が大きく脅かされています。会社施策のスピードが早まる中、効率化という名のもとに設備や人にかかるコストを削減、技術継承やノウハウが蓄積されずに人の命に直結する大事故が増えてきています。

ハインリッヒの法則でいう **1 : 29 : 300** のうち **29** といわれる事故がここ数年で多発しています。

いつ重大事故といわれる **1** の事象が発生しても不思議はない状況です。

今から20年前の4月25日、福知山線脱線事故が発生した際には、乗務員も含め多くの乗客の命が失われました。そして同年12月25日には羽越本線で突風による列車脱線事故が発生し、そこでも乗客の命が失われています。

JRに限らず鉄道は「安全」であることが乗客から「当たり前」と思われています。その「当たり前」の信頼が今、また崩れ去ろうとしています。

先日、10月5日に東急電鉄田園都市線 梶が谷駅構内での列車衝突脱線事故が発生しました。死傷者は発生しませんでした。他社の事故だからと思わずに私たちにも置き換えて教訓化することが大切です。人為的なミスや機械的なミス、システムのミスはあって当然です。それは人間がつくり出しているからです。最終的な安全を守るのもまた人間です。

安全は当たり前ではありません。潜んでいるのは常に「危険」です。私たち鉄道で働く労働者は命が価値基軸です。事故の芽を現場から摘んでいこう！



JR 東日本内で発生した大きな事故・事象（一部）

- ・2015年4月12日 山手線 神田・秋葉原間 電化柱倒壊
当時、山手線担当の運転士が電化柱の傾きを指摘するも放置され倒壊
- ・2024年9月19日 東北新幹線 古川～仙台間 列車分離
- ・2025年 3月6日 東北新幹線 上野～大宮間 列車分離
1回目の列車分離に対して対策を打ったが教訓化せずに2回目の分離が発生
- ・2025年5月22日、23日 山手線 新橋駅構内 架線垂下・断線
現場の意見を聞かずに列車の運転を止めずに長時間の運転見合わせ

安全な鉄道を私たちの手でつくり出そう！

- ・危険を感じたり、不安があれば勇気を持って列車を止めよう！
- ・作業に対し、疑問や不安全と感じたならば勇気を持って作業を中断しよう！
- ・悩むことがあったら一人で抱えずに輸送サービス労組に相談しよう！